

令和7年度 第4回富山市交通空白輸送地域公共交通会議 議事録

1. 日時 令和8年2月6日（金）14：00～14：50

2. 場所 富山市役所 議会棟8階 第4委員会室

3. 出席状況

【出席者】

団体名等	職名	氏名	備考
富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	教授	本田 豊	
富山市自治振興連絡協議会	副会長	山田 憲彰	
富山地方鉄道株式会社 自動車部 営業課	課長	奥村 大	
富山県交通運輸産業労働組合協議会	議長	金山 剛	
富山県タクシー協会	専務理事	高田 順一	
全国自動車交通労働組合 富山地方連合会	執行委員長	石橋 剛	
国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局	首席運輸 企画専門官	景山 隼人	
富山県警察本部 交通部 交通規制課	課長	六渡 崇	代理出席
富山県交通政策局 地域交通・新幹線政策室 交通戦略企画課	課長	黒崎 勇一	代理出席
富山県富山土木センター	次長	鹿熊 文博	代理出席
富山市活力都市創造部	部長	深山 隆	

【説明者】

- ・ 富山地方鉄道株式会社自動車部運行管理課 石須 利信
- ・ 富山市活力都市創造部交通政策課 主幹 老田 千由希
- ・ // 主査 小川 大輝
- ・ // 技師 前田 瑠
- ・ // 八尾バス管理センター 主幹 宮口 尚久
- ・ // 大山バス管理センター 主幹 北野 康弘

【事務局】

- ・ 富山市活力都市創造部交通政策課 課長 杉木 光晴、主幹 笹倉 宏一

4. 議事

・議決事項

- 議案第1号 市営八尾コミュニティバスの変更について
- (1) 桐谷・茗ヶ原線の変更について
 - (2) デマンド運行への変更について
 - (3) 八尾環状線・杉原線の停留所の新設について
- 議案第2号 市営大山コミュニティバスのデマンド運行への変更について
- 議案第3号 市営コミュニティバスにおける貨客混載事業の継続について
- 議案第4号 富山港線フィーダーバスの変更について
- (1) ダイヤ改正について
 - (2) 延伸について
 - (3) 停留所名称の変更について
- 議案第5号 水橋コミュニティバス AI オンデマンド交通実証運行の内容変更について

資料

- ・ 会議次第 ・ 委員名簿 ・ 会議資料

議案第1号 市営八尾コミュニティバスの変更について

- (1) 桐谷・茗ヶ原線の変更について
- (2) デマンド運行への変更について
- (3) 八尾環状線・杉原線の停留所の新設について

【資料説明】 富山市

【意見・質問要旨】 なし

【議決】 原案のとおり承認

議案第2号 市営大山コミュニティバスのデマンド運行への変更について

【資料説明】 富山市

【意見・質問要旨】

(委員)

いずれの路線も、デマンド運行の区間が増えるという認識で合っているか。

(富山市)

そのとおりである。

【議決】原案のとおり承認

議案第3号 市営コミュニティバスにおける貨客混載事業の継続について

【資料説明】富山市

【意見・質問要旨】

(委員)

実証実験から本格実施に変わること、何か変更点はあるか。

(富山市)

実証実験は令和6年度より、本格実施は令和7年度より実施しており、令和8年度も本格実施を継続する。事業内容について変更はない。なお、道路運送法第78条3号の許可期間が1年間のため、毎年議案として承認を得る必要がある。

【議決】原案のとおり承認

議案第4号 富山港線フィーダーバスの変更について

(1)ダイヤ改正について

(2)延伸について

(3)停留所名称の変更について

【資料説明】富山地方鉄道株式会社

【意見・質問要旨】

(委員)

富山港線のダイヤ改正があれば、バスダイヤも改正となる可能性があるということか。

(富山地方鉄道株式会社)

当会社の鉄道事業部から、富山港線のダイヤ改正の通達があれば、それに伴い、バスダイヤも改正する予定である。

(委員)

繰上げとなる最終便の利用者数はどれくらいか。

(富山地方鉄道株式会社)

別紙1に令和6年度の平均乗車人員を記載している。岩瀬・大広田・浜黒崎ルートの子平日の最終便のうち、岩瀬浜駅前発が1.2人、水橋漁港前発が0.8人である。

(委員)

27ページの別紙2”路線略図”の①～④の番号は、どのような意味か。

(富山地方鉄道株式会社)

道路運送法第4条申請の際に、地点を説明するための印として必要となる番号であり、バスの運行ルートの順番ではない。バスの運行ルートの順番は、①→③→④→②→「水橋町」停留所→③→①となる。

【議決】原案のとおり承認

議案第5号 水橋コミュニティバスAI オンデマンド交通実証運行の内容変更について

【資料説明】富山市

【意見・質問要旨】

(委員)

本実証運行について、補助金を活用する予定はあるか。

(富山市)

富山県の補助金を活用する予定である。また、国土交通省の補助金については、詳細が公表され次第、内容を確認し、公募申請したいと考えている。

(委員)

自家用有償旅客運送によるオンデマンド交通が発展した場合、タクシー事業が衰退する場合もあるため、タクシー事業者等の関係者ともよく調整していただきたい。

(富山市)

承知した。

【議決】原案のとおり承認

(以上)